

協 議 会 会 議 記 録

会 議 名 称	令和4度 第2回 上里町地域公共交通活性化協議会
日 時	令和4年10月26日（水）午後2時～午後3時
開 催 場 所	上里町役場 4階 大会議室
会 長 副 会 長	○島 田 邦 弘 上里町副町長 ○戸 口 吉 雄 上里町区長会 会長
出 席 委 員	○鈴 木 貴 大 株式会社協同バス 代表取締役社長 ○高 原 昭 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 専務理事（代理出席：藤田貢） ○松 本 一 也 協同観光バス労働組合 執行委員長 ○丸 山 眞 司 上里町老人クラブ連合会 会長 ○細 野 桂 一 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局首席運輸企画専門官 ○岡 本 史 靖 埼玉県本庄県土整備事務所 道路施設担当課長 ○宮 下 忠 仁 上里町道路整備課 課長 ○笹 原 久 雄 本庄警察署交通課 課長（代理出席：漆谷直樹） ○今 井 理 雄 駒澤大学応用地理研究所 専門研究員 ○坂 口 真 一 東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社 総務部 経営・財務戦略室 統括リーダー（代理出席：神宮一雄） ○西 野 利 彦 埼玉県企画財政部交通政策課 主査 ○亀 田 眞 司 上里町町民福祉課 課長 ○吉 田 広 毅 上里町まちづくり推進課 課長 ○間々田 由 美 上里町高齢者いきいき課 課長 ※敬称略・順不同
欠 席 者	○田 沼 健 一 朝日自動車株式会社 運輸部次長 ○神 宮 つぐよ 本庄地区タクシー協議会 会長 ○関 根 肇 一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事
傍 聴 者	1名

会 議 次 第	<p>1. 開 会</p> <p>2. あ い さ つ</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>報告事項 1 「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について 資料 1</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>協議事項 1 上里町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について (案) 資料 2</p> <p>協議事項 2 上里町地域公共交通網形成計画の変更について (案) 資料 3</p> <p>協議事項 3 「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施について (案) 資料 4</p> <p>協議事項 4 次期導入形態の検討(検討体制・スケジュール等)について (案) 資料 5</p> <p>(3) 第2回交通会議の開催について</p> <p>4. 閉 会</p>
配 布 資 料	<p>○資料 1 : 「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について</p> <p>○資料 2 : 上里町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について (案)</p> <p>○資料 3 : 上里町地域公共交通網形成計画の変更について (案)</p> <p>○資料 4 : 「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施について (案)</p> <p>○資料 5 : 次期導入形態の検討(検討体制・スケジュール等)について (案)</p>

発 言 者	発 言 内 容 等
事務局	資料確認
会 長	1. 開 会
議 長	2. あ い さ つ
	3. 議 事
	<p>議事に入る。初めに、報告事項 1、「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について、(1)「こむぎっち号」の運行状況について」を運行事業者の(株)協同バスより報告を求める。</p>
運行事業者	<p>運転士からの聴き取り内容を報告する。</p> <p>①東公民館への利用者が増えた。</p>

	<p>②北部ルートについては、「八町河原」からの利用者が増え、カインズやユニクスへいく利用者が増えた。</p> <p>③南部ルートで「県営団地」から乗車する常連の方がいなくなった。</p> <p>④観光目的で「菅原神社」へ行く利用者が以前はいたが、いなくなった。</p>
議 長	<p>社会状況としては、関東圏において、昨年度よりバス利用者は増えている。しかし、コロナ以前と比較するとまだ少ない。</p>
事務局	<p>続いて、(2)「こむぎっち号」に利用状況について」事務局より報告を求める。</p>
議 長	<p>資料1を用いて説明。</p> <p>昨年度の同時期と比較すると利用者全体としては増加しているが、南部ルートについては、増加していないとのこと。また、高齢者無料パスについても、交付は順調であるが、利用には繋がっていないとのこと。</p> <p>この件について、何か意見はあるか。</p>
一 同	<p>意見なし。</p>
議 長	<p>報告事項1について、以上で終了する。、</p> <p>続いて協議事項1「上里町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について(案)」、事務局より、説明を求める。</p>
事務局	<p>資料2を用いて説明。</p>
議 長	<p>協議事項1について、委員より質問を受け付ける。</p>
委 員	<p>現在、各市町村で「地域公共交通計画」を作成中ですが、上里町においては、令和7年度からということによいか。</p>
事務局	<p>既存の計画が有効な期間については、作成の義務はないため、令和7年度からとなる。しかし、来年度、既存の計画では足りない部分については改定し、追加する予定である。</p>
議 長	<p>それでは、協議事項1「上里町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正(案)」、について、承認者の挙手を求める。</p>

一 同	(全員挙手)
議 長	委員全員の挙手により、「上里町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について(案)」は原案の通り承認された。
	続いて、協議事項2「上里町地域公共交通網形成計画の変更(案)」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料3を用いて説明。
議 長	協議事項2について、委員より質問を受け付ける。
一 同	なし。
議 長	それでは、協議事項2「上里町地域公共交通網形成計画の変更(案)」について、承認者の挙手を求める。
	(全員挙手)
	委員全員の挙手により、協議事項2「上里町地域公共交通網形成計画の変更について(案)」は原案の通り承認された。
	続いて、協議事項3「「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施(案)」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料4を用いて説明。
	協議事項3について、委員より質問を受け付ける。
委 員	上里町では広報紙をどのように配布しているのか。
事務局	全世帯に毎月1日に毎戸配布している。
委 員	1世帯に2枚の配布ということになるが、それ以外に入手する方法はあるのか。
事務局	1世帯に2枚となる。役場でも広報紙は備えているため、必要に応じて、入手できるが数は限られている。1世帯で1人しか使用できないことを懸念して頂いているのかと思う。偽造防止の観点からも複写は禁止しており、現状1世帯往復1

委員	<p>人の利用となる。</p> <p>わかった。</p> <p>話は少し脱線するが、以前から話していることだが、先日興味深い記事があった。和歌山県の話で、公共交通を考えると、いつも若年層が置き去りになってしまうが、若年層にフォーカスし、制度設計をしたら、高齢者にも利用しやすいものになったとあった。是非、若い人にも利用していただける仕組み作りをして欲しい。</p>
議長	<p>先日、バスに興味がある高校生と一緒にこむぎっち号に乗車した。その際に、バスは意外と快適であるが、もっと工夫すればもっと利用しやすいものになるとの意見があった。例えば、バス停の表現方法で、イオンのバス停がどこにあるのか誰でもわかるように「イオン〇〇出口」等があれば、みんなに分かりやすい。</p> <p>世代を超え、様々な意見を徴収していきたい。</p>
一同	<p>他に意見はあるか。</p> <p>なし。</p>
議長	<p>それでは、協議事項3「「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施について(案)」について、承認者の挙手を求める</p> <p>(全員挙手)</p> <p>委員全員の挙手により、協議事項3「「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施について(案)」については原案の通り承認された。</p>
事務局	<p>続いて、協議事項4「次期導入形態の検討(検討体制・スケジュール等)(案)」について、事務局より説明を求める。</p> <p>資料5を用いて説明。</p> <p>協議事項4について、委員より質問を受け付ける。</p> <p>4月から業者選定し計画策定とあるが、検討内容をどのように計画に反映していくのか。</p>
事務局	<p>計画業務について、来年度については計画策定に必要な検討と資料収集になる。</p>

議 長	<p>実際に計画内容が見えてくるのは令和6年度からになる。</p>
委 員	<p>町にあったものを作っていきたい。そのためには、町民の意見をしっかり聴取し、その後、コンサルの知識を活かし、制度設計をしていきたい。</p>
事務局長	<p>他自治体の成功事例を真似してやっても失敗する。成功している市町村は他を参考にせずに、町にあったものをゼロから作成している。</p>
委 員	<p>幅広い世代が参加できる町民ワークショップにして欲しい。</p>
事務局長	<p>町民ワークショップでは、子育て世代枠として「子ども育成会」が入っているが、全体としては、高齢者が多い。一般公募枠で、幅広い世代が応募できるよう工夫したい。</p>
委 員	<p>課題の優先順位を付けたことはよいこと。課題をみると、どれもサービスの拡大に関すること。本数も多く、乗り継ぎもなく、日曜日も運行、朝早くから夜遅くまで運行と、どれもサービスの拡大となっている。これは上里町だけでなく、全ての市町村が同じである。ただ一方で予算には限りがある。現状、国庫補助金を活用しているが、いつまで継続するかは不明。また、バス業界、タクシー業界の話で恐縮だが、実情をお話すると、運転手の極端な不足が問題となっている。バス運転手等に必要な免許を取得する人が、20年前と比較すると、6割減の4割となっている。トラックドライバーについても同様。更に拍車をかけるのが働き方改革であり、今後、サービス拡大の需要に対応できない可能性がある。そういった中、労働力という戦力をどこに持っていくのかをよく考えていかないと持続可能なものとなっていけない。</p>
議 長	<p>町のサービスの在り方だけを考えるのではなく、社会情勢をきちんと捉え、サービスの最適化について考えていく必要があると改めて思った。</p>
事務局長	<p>事務局からも何か意見あるか。</p>
議 長	<p>委員のご指摘を踏まえ、検討していく。また、社会情勢という観点では、車両確保等についても、以前よりも深刻な状況であるため、しっかりとスケジュール管理をし、サービスの最適化ができるよう進めていきたい。</p>
一 同	<p>他に意見はあるか。</p>
議 長	<p>なし。</p>
議 長	<p>それでは、協議事項4「次期導入形態の検討（検討体制・スケジュール等）について（案）」について、承認者の挙手を求める</p>

<p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>一 同</p> <p>事務局</p> <p>監 事</p>	<p>(全員挙手)</p> <p>委員全員の挙手により、協議事項4「次期導入形態の検討(検討体制・スケジュール等)(案)」については原案の通り承認された。</p> <p>これで、協議事項はすべて終了した。続いて、(3)その他について、委員から何か意見はあるか。</p> <p>なし。</p> <p>事務局より何かあるか。</p> <p>次回の会議は毎年実施している国庫補助金の事業評価の時期となる1月を予定している。日程が決まったら、通知をする。</p> <p>4. 閉 会</p>
--	---

以上